

# ライフサポートファイル 主なご意見一覧表

資料4

NO	章	P	ご意見	対応
1	総論	2	知的・発達障害に限らずに、発達の遅れの「気づき」の段階や、障害の受容前の保護者についても、利用しやすくするべきではないか。	「障害」から「特別な支援や配慮が必要な」等に表現を変更。
2	第Ⅰ章 第Ⅲ章			各章において、障害に関する項目を後方に移動。（第Ⅲ章では【参考】扱いとした）
3	第Ⅰ章 第Ⅲ章	11 25 30	学齢期以降が長いので、お金の使い方や、健康保険の加入状況、年金に関することの記入欄があると良い。	健康保険の加入状況については、『(4)相談・医療・療育機関の利用歴』に項目追加。金銭に関することについては、『(6)日常生活について』や『(11)その他』で対応可能。
4	第Ⅰ章	7	本人の性格や趣味嗜好欄が必要ではないか。支援者にとっては重要な資料である。	『フェイスシート②』を追加。
5	第Ⅰ章	8	乳幼児期の発育について、「普通」や「遅い」などの判断基準が必要。	「遅い」等の表現は記入者の不安感があるため、表現を（      歳      か月）に変更。
6	第Ⅱ章	16	横の連携が図られるようなシートも必要。	縦と横の連携双方に活用できるよう、『相談や関わりのまとめ』の様式内に、「他の支援者へお願いしたいこと」の欄を追加。
7	第Ⅲ章		発達障害特有の困難さを表現するには、チェック項目の4段階の基準は不要ではないか。	「気づき」の段階の保護者が記入しやすいよう、4段階のチェック項目は必要である。
8	第Ⅲ章		「気づき」の段階の保護者にとっては、コミュニケーションのこと等、すべてを記入するには抵抗があるのではないか。	保護者の負担感を軽減するため、主に関係者が記入をする『相談や引き継ぎの記録』を第Ⅱ章に変更。 例えば、「気づき」の段階の場合は、第Ⅲ章の記入がなくても、第Ⅱ章までで利用できる構成を想定。
9	第Ⅲ章		発達障害特有の困難さや苦手さは、個々で表現が難しいため、具体的な行動と対応を自由に記入できる欄が必要。	自由記述欄をやや拡大し、特記事項や対応方法等を書けるよう変更。
#	第Ⅲ章	19	障害の受容欄について、利用者が抵抗感を感じるので、削除するべきではないか。	障害の受容欄を削除。
#	第Ⅲ章	20 ～24	他市の資料を参考にして、『わたしの特徴』に項目を追加してほしい。	『わたしの特徴』に、注意力、自己抑制、社会性・協調性、感覚過敏を追加。
#	第Ⅲ章	29	パニックの程度の区分に関する具体的な基準が必要ではないか。	記載例としていただいた判断基準を追加。
#	第Ⅲ章	32	各項目について、ライフステージごとにひとまとめにして書けるようなものと良い。現在できていることが、どの時点でできるようになったのか、その流れが一目で分かるようなものが良い。	『これまでの成長記録』を追加。
#	第Ⅲ章	34	1日の生活の流れについて、横書きにし、どの部分で親や支援者が関わっているかを記入できるようにするべきではないか。	横書きとし、支援者と支援内容の記入欄を追加。平日と休日で流れも異なるため、曜日記入欄を追加。
#	総論		保護者が書き込む欄が多い。記入例があると良い。	親の会に依頼したいと考えている。
#	総論		本人にとって重要なのは、学校を卒業してからのライフステージであるが、その点が重要視されていない構成になっているのではないか。	連絡協議会でご意見をいただきたい。